



# のびもと 小高伸太県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

県会議員活動も6期目を迎え、増々円熟味を増している小高伸太県議(勝浦市・夷隅郡選挙区)は6月県議会で登壇し、県の将来像や県政の課題について、森田知事ら県執行部に質問しました。小高県議は真っ先に、東京オリンピックで追加種目候補に挙げられたサーフィンの開催地問題を

取り上げ、外房地域のレガシーにと、九十九里・外房地域へのサーフィン競技誘致への尽力を要望しました。また、小規模事業者を支える商工会・商工会議所のさらなる機能強化への支援や外房地域の沿岸漁業振興などについて、県の考えを聞きました。

## 東京五輪

# サーフィン競技を 九十九里・外房で

## 会場誘致へ尽力要望



地元のマリブでサーフィンをする小高伸太県議

## 6月定例県議会一般質問

小高議員  
昨年9月、東京オリンピック追加種目候補の一つとして、サーフィン競技が組織委員会からIOCに提案された。

正式に追加種目になるのは、8月のIOC総会の決定後となるが、すでに、世界各地のサーフスポットでは、世界初のオリンピック競技開催地となるべく、会場誘致の動

きが大変に高まっている。本県においても、昨年11月に九十九里・外房地域の16市町村長と日本サーフィン連盟の県内4支部長から森田知事あてに、会場誘致にかかわる要望書が提出された。

その際には私も同席し、知事からは「県としてもできる限り協力していきたい」という言葉をいただいた。現在、世界大会の実績がある勝浦市と御宿町、一宮

開催されることになれば、国内はもとより、世界中から数多くのサーフィン愛好者が本県を訪れることになり、これまで、サーフィンに縁の薄かった人々も、それをきっかけに外房の海に来るようになる。

来訪した方々に競技を心から楽しんでいただきながら、外房地域全体のレガシーとして2020年はもちろん、その先の未来に遺し、受け継いでいくためには、開

町といすみ市、さらに、鴨川市を中心とした安房の3つの地域が会場誘致に積極的に取り組んでいるが、私は地方創生の観点からも、オリンピックという大きな大会が郡部で開催されるといふことには大きな意義があると思っ

総合企画部長 県では、地元16市町村からの要望を受けて、本年2月に、組織委員会に対して、サーフィン競技の県内開催に係る要望書を提出したところです。また、3月には、「サーフィン競技連絡会議」を設置し、県及び16市町村が連携、協力して、誘致に向けた受け入れ環境を整えていくことなどを確認しました。

「小田代勝浦線」が大型観光バスで通行できるよう整備されれば、渋滞解消はもちろん、勝浦や御宿と言った海沿い地域へのアクセシビリティが向上し、周遊効果も増加するなど、外房地域の発展につながると思うので、県道「小田代勝浦線」の拡幅を強く要望する。

催地となる市町村だけではなく、外房地域全体にその効果を波及させていくことが重要なことと考える。そこでうかがうが、九十九里・外房地域へのサーフィン競技の誘致について、県として今後、どのように取り組んでいくのか。

小高議員 道路問題について、圏央道にアクセスする国道297号の整備状況はどうか。

小高議員 夷隅地域は県内有数の観光資源を有しているが、それを結び、発展させていくためには、国道297号や465号だけではなく、それら主要道を補完する道路整備が必要。

## 小田代勝浦線拡幅を 夷隅の観光資源生かす

### 要望

小高議員 選手の方々が一番良い波で競技するためには、広域的な取り組みが必要である。ぜひ、外房会場として「外房の海へオリンピックのレガシーを」ということで皆様の御理解と御協力を

## 小高伸太プロフィール

### 略歴

- 昭和32年6月 生まれ
- 昭和55年3月 日本大学経済学部卒業
- 昭和60年8月 衆議院議員秘書
- 昭和61年8月 参議院議員秘書
- 平成3年4月 千葉県議会議員初当選
- 平成27年4月 県議会議員6選

### 現職

- 千葉県議会 総合企画水道常任委員会
- 自民党県連 自民党千葉県支部連合会副会長
- 勝浦市商工会 会長
- 特別養護老人ホーム・シルバーガーデン 理事長

# 商工会・商工会議所

## 機能強化へ補助制度見直し



議場の自席で再質問を行う小高伸太県議

会議所は、従来の経営相談・指導に加え、小規模事業者の事業計画の策定と、その着実な実施の支援や、地域の活性化にも、より積極的に取り組むことが期待されることとなりました。

小高議員 商工会・商工会議所や小規模事業者への支援についてうかがう。県内の商工会・商工会議所の経営発達支援計画の認定状況について、県はどのように考えるのか。

商工労働部長 県内40商工会においては、全国に先駆けて、全ての商工会の計画が国の認定を受けており、今後、当該計画に沿って、小規模事業者への支援が、商工会を要として関係機関が一丸となって行われていくものと考えています。

一方、商工会議所においては、経営発達支援計画を未だ策定していない団体も多いため、県としては、計画の策定経費などに対する補助制度の活用も促しながら、計画策定を働きかけてまいります。

小高議員 小規模事業者を支える商工会・商工会議所のさらなる機能強化として、どのような支援に取り組んでいくのか。

商工労働部長 平成26年の「小規模事業者支援法」の改正に伴い、商工会・商工

の補助制度を見直し、「経営発達支援計画」の策定や伴走型支援への取り組みに対する提案型補助金の創設、「小規模事業者の支援への取

組みに対する実績評価制度の導入」を行い、商工会・商工会議所の機能強化を図ることとしました。

今後は、商工会・商工会議所が中心となり、地元市町村、県産業振興センターなど一体となって小規模事業者に対する効果的な支援が行えるよう、関係機関に働きかけてまいります。

このため、県では、昨年度、商工会・商工会議所への支援は、昨年、商工会・商工会議所の機能強化を図ることとしました。

今後は、商工会・商工会議所が中心となり、地元市町村、県産業振興センターなど一体となって小規模事業者に対する効果的な支援が行えるよう、関係機関に働きかけてまいります。

## 県内での撮影支援 急増、昨年1606件

小高議員 県内の映画など撮影支援の現状と課題について、どのように認識しているのか。

14年度に千葉県フィルムコミッションを設立したところであり、現在では、10を超える市町村においてフィルムコミッションが立ち上がり、撮影支援に取り組んでいます。

平成20年に428件であったものが、平成27年は1606件まで増加し、支援組織や人材が追いついていない課題が見えてきました。

口々に係る支援は、撮影地の紹介から始まり、道路使用許可や、エキストラの

手配等きめ細かい対応が必要であることから、地域が主体となって取り組むことが重要。今後、県内各地域での取り組みが一層広がるよう働きかけていきます。

小高議員 テレビ番組等を紹介されたロケ地に観光客を呼び込むため、版權の活用など、より効果的なPRが必要ではないか。

商工労働部長 県内で撮られた映画やテレビ番組については、地域の魅力的な観光情報などと合わせた「エリア別ロケ地マップ」や

「モデルコース」などを、ホームページやパンフレットに掲載し、PRに努めています。

今後は、作品のプロモーションと連動してロケ地を紹介するなど、制作会社等とより積極的に連携したPRについて検討していきます。

小高議員 「千葉県映画・テレビ等」撮影支援事業補助金の交付決定状況はどうか。

商工労働部長 本事業は、映画やテレビ番組等のロケーション費用に対して、最

大1千万円を助成するものです。平成26年度の交付決定額は、2件25万円でしたが、制度の周知が進んだ昨年度は、大多喜町を舞台にした映画「夏のホタル」など、大規模な撮影の2作品を含む4件で、交付決定額は約1300万円となりました。

小高議員 1件当たりの補助金は少なくなって構わないので、より多くの作品ロケを本県に呼び込めるよう、申請の簡略化と積極PRをしてほしい。

県では、このような状況を受け、国と連携し、資源管理や稚魚の生産放流に取り組んできた結果、高値で取引される釣りサバやマダイ、ヒラメなどの漁獲量が増加してきています。

さらには今後は、キンメダイの水揚げ額を増大させるため、資源量に応じた効果的な漁獲管理手法の開発に取り組むとともに、アワビの増産効果を高めるため、放流育成、産卵、漁獲を4年サイクルで行う輪採漁場の整備を支援するなど、水産資源の維持増大の取り組みを強化してまいります。

HPもご覧下さい...

検索

小高議員 地域経済を支える小規模事業者の重要性を踏まえ、小規模事業者の振興を図るための条例が必要と考えるがどうか。

小高議員 外房地域の沿岸漁業は、漁業者が多く、カツ

オ、アワビ、イセエビ、キンメダイなど、比較的価格の高い魚介類を水揚げする、地域の重要な産業です。しかし、カツオ、スルメイカの漁獲量が減少するなど、外房地域の水産資源は厳しい状況に

あります。

県では、このような状況を受け、国と連携し、資源管理や稚魚の生産放流に取り組んできた結果、高値で取引される釣りサバやマダイ、ヒラメなどの漁獲量が増加してきています。

さらには今後は、キンメダイの水揚げ額を増大させるため、資源量に応じた効果的な漁獲管理手法の開発に取り組むとともに、アワビの増産効果を高めるため、放流育成、産卵、漁獲を4年サイクルで行う輪採漁場の整備を支援するなど、水産資源の維持増大の取り組みを強化してまいります。

さらには今後は、キンメダイの水揚げ額を増大させるため、資源量に応じた効果的な漁獲管理手法の開発に取り組むとともに、アワビの増産効果を高めるため、放流育成、産卵、漁獲を4年サイクルで行う輪採漁場の整備を支援するなど、水産資源の維持増大の取り組みを強化してまいります。

HPもご覧下さい...

検索

小規模事業者 振興の条例を

キンメダイ水揚げ増へ 漁獲管理手法開発目指す

## 県政の実績をもとに!

●県政や勝浦市・夷隅郡のご相談、ご意見を聞かせてください

小高伸太 県議事務所 TEL.0470-73-7230 FAX.0470-73-8381

メール=info@odakanobumoto.com ブログ=http://blog.odakanobumoto.com/